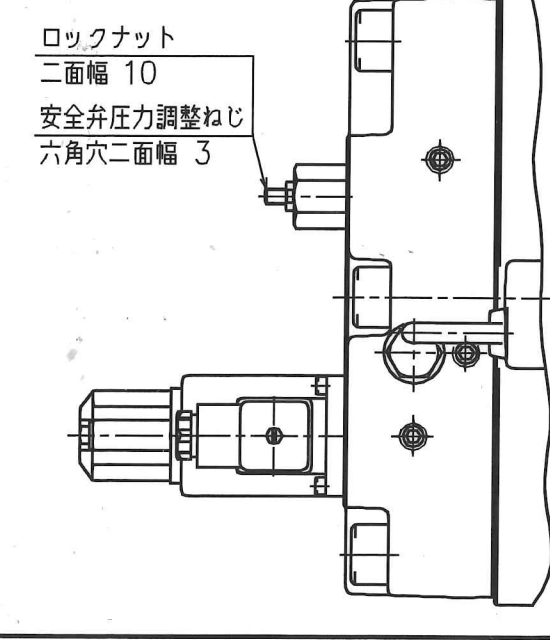
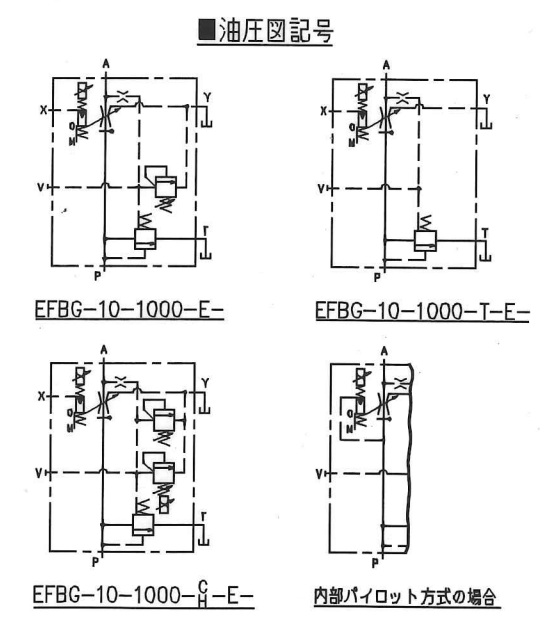
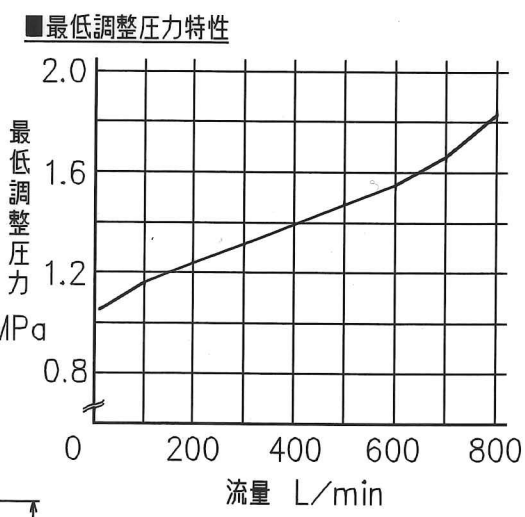


(F-) EFBG-10-1000- C (-E) -51
質量：76 kg

(F-) EFBG-10-1000 (-E) -51
質量：74 kg



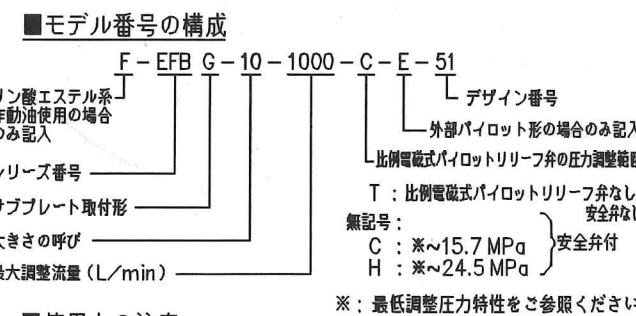
■弁取付面寸法
下図に示す取付面をご用意ください。
なお、取付面は6-Sに仕上げてください。



■仕様

最高使用圧力	MPa	24.5
流量調整範囲	L/min	10~1000
最大リリーフ流量	L/min	800
最低パイロット圧力	MPa	1.5
所要パイロット流量	L/min	流量制御 4.5 圧力制御 6.0
定格電流	mA	830
コイル抵抗	Ω	10
弁差圧	MPa	1.2
ヒステリシス		3%以下 (注1)
繰返し性		1% (注2)
圧力調整範囲	MPa	C: \approx 15.7 H: \approx 24.5 (注3)
定格電流	mA	C: 900 H: 950
コイル抵抗	Ω	10
ヒステリシス		3%以下 (注1)
繰返し性		1% (注2)

(注1) 油研製専用パワー増幅器を使用した場合の値です。
(注2) 同一条件における弁単体の値です。
(注3) \approx は、最低調整圧力特性をご参照ください。



- 使用上の注意
- 空気抜き
安定した圧力と流量の制御を行うために、エアイベントを緩めて空気抜きを行いソレノイドケース内に油を充填させてください。なお、エアイベントは、3箇所ありますので最も空気が抜ける位置から操作してください。
 - 手動調整ねじ
初期調整または電氣的故障など、弁に流入電流のない場合に手動調整ねじを回すことにより、臨時に弁の圧力または流量を設定することができます。なお、通常の場合は、必ず手動調整ねじを完全に戻してください。
 - ドレンポート
ドレンポート背圧は、最低調整圧力に加算されますのでご注意ください。ドレン配管は、できるだけ低い背圧で直接油タンクの油面下へ接続してください。
 - 安全弁の設定圧力
安全弁は、最高調整圧力に2MPa加算して圧力に設定してあります。実際に使用される圧力に合わせて適宜調整してください。安全弁調整ねじを反時計方向に回すと圧力は下がります。なお、調整後は必ずロックナットを締めてください。
 - 圧力制御状態においてリリーフ弁通過流量が少流量の場合、設定圧力が不安定になることがありますので、通過流量は20 L/min以上でご使用ください。また、タンクポート背圧は0.5MPa以下でご使用ください。
- 使用油およびフィルトレーション
石油系作動油 (ISO VG32または46相当油) を油温-15~+70℃、粘度20~200 mm²/sの両条件を満足する範囲でご使用ください。なお、使用油は常に汚染度: NAS 10級より清浄な状態を保つとともに、弁入口には20 μ m以下の管路用フィルターを設けてご使用ください。
- 付属品
取付ボルト (六角穴付ボルト): M20×150L...4個
締付トルク: 325~603 N·m

K.S 6/5 1/01	DATE	'99-4-5	DRAWN	大谷	YUKEN KOGYO CO., LTD.	
	APPROVED	野瀬	CHECKED	長谷部		MODEL NO.
	REVISIONS	三角法 THIRD ANGLE PROJECTION			NAME 1	1/4 比例電磁式リリーフ弁付流量調整弁
	SYM	FILE NO.	648	DWG NO.	VA317969-4-1	51 D